

特集

遊びが拓く 作業療法の世界

編集担当 三瀬 和彦

「遊び」とは

—遊びの特性と作業療法

辛島 千恵子 ————— ●295

けん玉遊びを取り入れた作業療法

—「遊び」は心身を動かし、地域を動かす

吉本 秀一 ————— ●300

「遊び」で創る筋ジストロフィーの可能性

—遊ぶことの意味を考える

田中 栄一 ————— ●305

「遊び」と作品づくり

—作品づくりの中にある遊びと創造性

森田 淳 ————— ●310

ミニ四駆とまちづくり

—「遊び」から異（多）業種連携を考える

寺門 貴，他 ————— ●317

「遊び」から広がる活動

—おはじきサッカー

鴻井 建三 ————— ●321

烈闘作業療法

民間企業 OT の先がけ—新たな環境を創り続けて
(横山 由梨子さん)

————— ●288

OTケアマネジャーはこうした！

利用者の「したい」を支えるために

大塚 英樹，他 —— ●338

これから臨床実習にでる君へ

クライアントと実習生から気づかされた
大切なこと

小野瀬 剛広 —— ●342

生活行為向上リハ実施のための臨床ガイダンス

生活行為向上リハビリテーション実施加算算定に
至るまでの取り組み

都甲 幹太 —— ●347

レストラン OT 奮闘記—汗と涙の就労支援

「洗い物しかできない障がい」って？

仲地 宗幸 —— ●350

片麻痺の方への促通反復療法 OT 実際編

前腕回内外・手関節の促通手技

大郷 和成 —— ●354

らんどまーく

地域で生きる OT になるために

久世 昭宏 —— ●286

OT として私が大切にしていること

にこにこ笑顔

吉岡 和哉 —— ●326

掘り起こせ “やる気” OT スコップ隊 認知症の人編

家族からみた認知症の症状（その 6）

上城 憲司，他 —— ●329

女性 OT ひとりで悩まないで

仕事と家庭の両立がむずかしい時

宇田 薫，他 —— ●330

なんでもできる 100 均グッズ

これだけで十分！ そのまま使える 100 均グッズ
その 2

灘 裕介，他 —— ●332

私が出会った作業療法

「やりたい」をやってみる，「やりたい」が
増えていく

安川 英子 —— ●334

作業療法周辺のニュース —— ●360

カメラマン川上哲也の見た世界 —— ●目次前

インフォメーション —— ●363

はじまりのことば…川口 淳一 —— ●巻頭頁

既刊案内 —— ●337

次号予告 —— ●365

民間企業 OT の 先がけ —新たな環境を 創り続けて

横山 由梨子さん

市立池田病院

OT 13 年目（そのほか 会社員 3 年）、愛知県出身

今回は、OT として住宅系企業に勤めていたこともある、横山由梨子さんにお話を伺った。当時、民間企業に就職する OT はとても少なかったと聞き、興味をもった。取材を始めてみると、ほかにも多種多様な経験・役割をされているのに驚いた。

会社員時代には、診療所での臨床や営業、経理、事務などを幅広く経験。その後、市立池田病院へ移ってからは、他職種向けのセミナーや研修にも通い、患者さんの訴えに応えようと努力した。さらには、労働組合の役員となり、OT でありながら看護師たちの調整役もしている。

すべてに全力の横山さんに、これからの目標も含めてお話しいただいた。（編集室）



インタビューの様子がムービーで
ご覧になれます

遊びが拓く 作業療法の世界

「遊び」は発達過程において欠かすことができない作業活動であり、人の生活においてもさまざまな部分で存在していると思われる。発達過程においては、感覚運動経験となり、認知過程、情動的側面へ働きかけ、社会性など多くの要素を経験させてくれる非常に重要な作業となる。人の生活においても、仕事や課題と常に対比して遊びの要素が存在し、日常とそうでない世界を提供してくれる存在でもある。

ロジェ・カイヨワ¹⁾は遊びを競争・偶然・模倣・眩暈の要素に分類し考察しており、これらは人の作業や生活に大きな変化をもたらしてくれる非常に重要な要素となりうる。

これまでも遊びの特性を生かした作業療法は数多く実践されていると思われるが、本特集では、今一度、遊びのもつ特性を理解し、作業療法場面への応用実践につなげていくことの重要性について、深く理解できるような内容を企画した。特に、遊びを通して生まれるさまざまな効果や作業療法の可能性を、実践的内容をもとに報告していただいた。

1) ロジェ・カイヨワ（著）、多田道太郎、塚崎幹夫（訳）：遊びと人間。p.44、講談社、1990

編集担当：三瀬 和彦
（甲府城南病院）

「遊び」とは—遊びの特性と作業療法

Chieko KARASHIMA

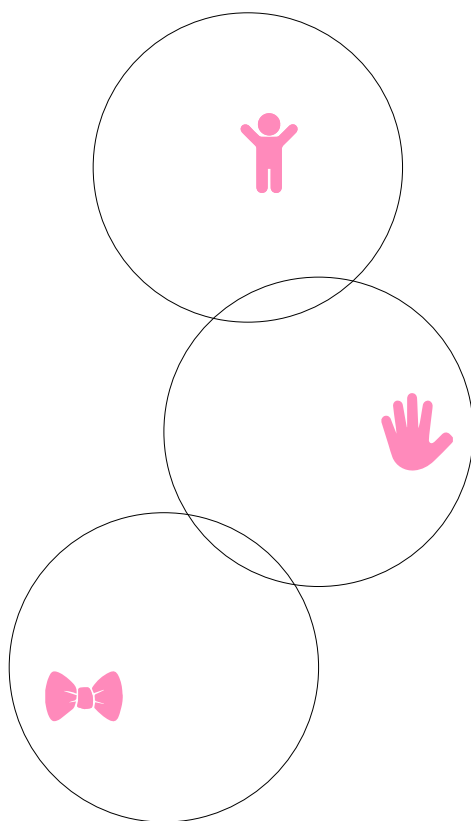
辛島 千恵子

名古屋大学大学院 医学系研究科 リハビリテーション療法学専攻 作業療法学講座, 作業療法士

内容を理解するためのキーワード ● 「遊び」という作業 ● 生涯発達 ● 「遊び」と作業療法

「遊び」のポイント

- 「遊び」という作業を通じた情動的コミュニケーション, 象徴的コミュニケーションが大切である。
- その「遊び」が本来もっている効用を見出して, その遂行を手助けすることが重要である。



はじめに

仕事柄, 保育園にて, 子どもたちが園庭で楽しく遊んでいる様子を目にすることが多い。その遊びは, むしろ大人の関与を必要としない終わりのないチャレンジの連続である。

作業療法では, 遊びを作業遂行課題 (日常生活活動, 仕事, 遊び, 余暇など) の1つとして, 手段的に用いていることが多く, 「遊び」を子どもから切り離して, 作業活動の1つとして分析することには慣れているが, 個と環境の関係性からその遊びの意味を理解する習慣がついていない。

しかし, 発達障害者支援法施行により, 急速にOTが地域で子どもたちの支援に携わるようになってからは, 子どもと子ども, 子どもと保育士さんといった人的環境因子との関係や, 子どもの特性との関係から遊びの意味を見出すことが重要となった。そして, その遊びがより主体的で, 自由で, 楽しい経験になっているかを評価することの意義が問われるようになってきた。

本稿では, 「遊びとは?」を問いながら, 「遊び」の特性と作業療法との関係を, おもに生涯発達の視点からまとめる。

けん玉遊びを取り入れた作業療法 —「遊び」は心身を動かし、地域を動かす

Shuichi YOSHIMOTO

吉本 秀一

一心病院，作業療法士・理学療法士

内容を理解するためのキーワード ● 高齢者 ● 交流活性化 ● 自己肯定

「遊び」のポイント

- けん玉遊びは，運動効果に加え，コミュニケーションや自己肯定の機会をつくる効果がある。
- 対象者のニーズに合わせた手作りけん玉や，楽しく練習ができるアプリ，カードの導入など，工夫により活用の幅が広がる。

けん玉遊びの特性と有効性

筆者は，OTとして高齢者にけん玉遊びを取り入れた運動を指導する機会が多い。その中で，けん玉が高齢者にとって導入しやすく，有効な点を以下に示してみた。

けん玉（図1a）は安価で携帯性に富み，遊ぶ場所を選ばず，無理なく，適度な運動強度が得られる。そして何より楽しく，ワクワクする感情や，技が「できた」時の快感が味わえる。また，1人でも集団でも，世代を超えても楽しめるコミュニケーションツールであり，孤立しがちな高齢者に対して有効である。

けん玉は，経験豊かな高齢者にとって，その時代の遊びや歌，生活体験を織り交ぜた懐かしい記憶を回想させる。また，自己肯定する機会が少なくなりがちな高齢者にとって，技の成功は「できた！」というプラスの確認，自らの身体機能を肯定的に認識する体験になる点で有効である。

具体的な導入方法を，以下に紹介する。

「遊び」で創る筋ジストロフィーの可能性 —遊ぶことの意味を考える

Eiichi TANAKA

田中 栄一

国立病院機構 八雲病院, 作業療法士

内容を理解するためのキーワード ●運動機能障害 ●試行錯誤 ●自己効力感

「遊び」のポイント

- 自己効力感の低い患者には、遊びのもつ気軽さが、活動を促すきっかけになる。
- 筋ジストロフィー（以下、筋ジス）では、道具の工夫をするなど、身体の負荷とにならないような活動支援が必要である。

当院（国立病院機構 八雲病院）には、小児期に発症する筋ジスの患者らが、学童期より長期にわたって入院生活をおくっている。彼らは、重度な運動機能障害を抱えているが、工夫次第で、数々の遊びの困難さを解決している。

遊びの工夫あれこれ

① みんなで冒険！

「今日、18時30分にいつものところに集合な！」と、電動車椅子の高校生Aくんは、同級生や少し年上の先輩を誘っていた。参加者は、それぞれ、この時間にはすでにベッドの中だが、どうやらインターネットのオンラインゲームで、チームを組んで冒険をするらしい。

パソコン画面の中では、それぞれの分身であるキャラクターが集まって、どうやって強い敵キャラクターを倒すのか？ と、攻略の話がチャットを使って行われていた。Aくんは、メンバーの中ではADL全介助で、一番障害が重い。しかし、この仮想現実の中では、一番の頼れる存在である。彼自身も、他のメンバーのために、攻略方法の下調べに余念がない。インターネット上だと、どんなに離れていても、同じルールの上で、多少

「遊び」と作品づくり

—作品づくりの中にある遊びと創造性

Atsushi MORITA

森田 淳

新橋病院デイケア 他，作業療法士

内容を理解するためのキーワード ● 遊び心 ● 一線 ● 喜び

「遊び」のポイント

- 遊びの際には，超えてはならない「一線」に注意を払う。
- 作品に使用するモチーフは，幼稚にならないよう注意する。
- 制作者が喜びを感じ，周囲の人から褒めてもらえる作品となるような導きを心がける。

はじめに

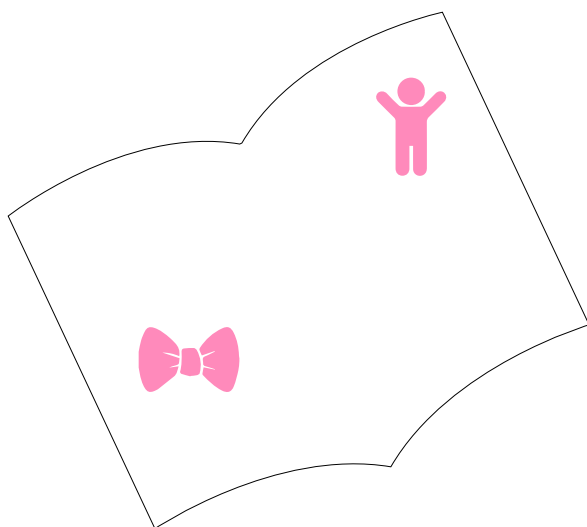
“遊び”とは，何であろうか。

『大辞林 第三版』によると“遊び”とは，①遊ぶこと。②賭け事や酒色にふけること。遊興。③仕事がないこと。暇なこと。④気持ちのゆとり。⑤機械の連結部分のゆとり。⑥洋装本で，見返しの表紙に貼られないほうの紙。⑦狩猟・歌舞・酒宴など，楽しみですること。⑧平安時代には特に管弦を奏すること。などがある。われわれ OT の活動としての activity（作品制作）やレクリエーションにおける“遊び”は，この内の④のニュアンスに近いものであろう。

筆者は，作業療法-activity 場面での遊びを「遊び心」と捉えるのが妥当と考える。では，その「遊び心」とは何であろう。作業療法とは，どう関係するのであろうか。

「遊び心」「面白み」と「一線」

われわれは，普段「一線を超えてはいけないよ」などという表現をよく使う。つまりは，その一線



ミニ四駆とまちづくり

—「遊び」から異（多）業種連携を考える

Takashi TERAKADO

Kazuya NISHIMURA

寺門 貴^{*1,2}, 西村 和也^{*2,3,4}^{*1}志村大宮病院 茨城北西総合リハビリテーションセンター, 作業療法士^{*2}フロイデ DAN^{*3}志村大宮病院 管理部営業課^{*4}NPO 法人 あきない組

内容を理解するためのキーワード ●コミュニティづくり ●親子の対話 ●異業種連携

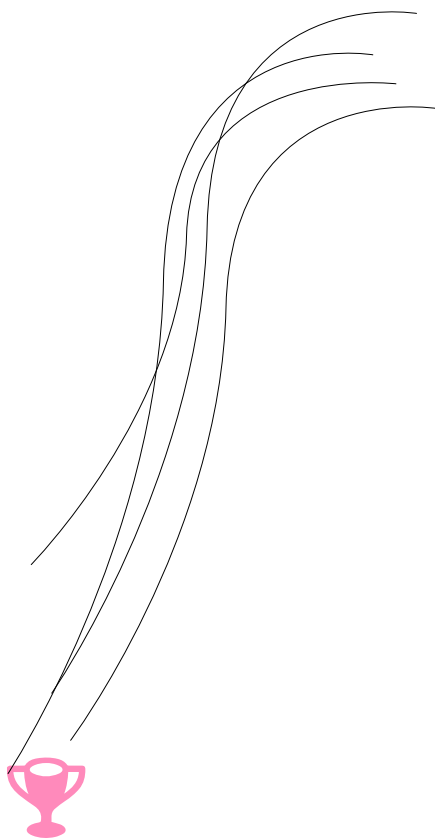
「遊び」のポイント

- 遊びは、地域における関係性構築の媒介ともなる。
- 遊びにより互いの距離が縮まることは、医療などの枠組みを超えた、多分野での協働にもつながる。

はじめに

遊びと作業療法というテーマで執筆するにあたり、OT（医療・介護に携わる者）としてイベント型地域づくりに参画する際、何ができるのか考えた。本稿では、遊び（ミニ四駆）を通して地域のつながりを構築して、まちづくりにつなげていくことについて述べてみたい。

当院（志村大宮病院）がある常陸大宮市は人口約42,000人、高齢化率約30%というまちであり、若い世代の市外あるいは県外への流出が顕著である。よって、子どもたちが生まれ育った地域に愛着をもち続けられるようにすることが大人の使命であると考えます。また、リハの理念を具現化する、あるいは地域包括ケアシステムを構築するにあたり、高齢化率が向上し地域が衰退してから何かを始めるのではなく、普段から地域住民と顔の見える関係を構築して、ネットワークを広げる工夫が必要である。その中で、遊び（ミニ四駆）は1つの媒体となり、個人の楽しみから場の共有、そして住民同士の関係構築に寄与するのではないかと考える（図1）。



「遊び」から広がる活動 —おはじきサッカー—

Kenzo KOI

鴻井 建三

日本おはじきサッカー協会, 作業療法士

内容を理解するためのキーワード ●コミュニティ ●子どもの遊び ●国際交流

「遊び」のポイント

- おはじきサッカーは, 子どもたちの発達において巧緻性・集中力・ルールの理解・戦略的思考などを鍛える。
- 治療的目的だけではなく, 遊び自体のもつ楽しみも追求することでコミュニティが広がる。

おはじきサッカーとは

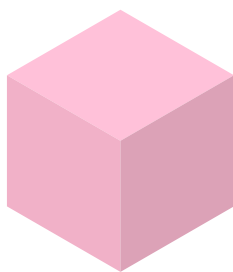
おはじきサッカーとは, 1946 年, イングランドのピーター・アドルフによって発明されたテーブルサッカーゲームである。

テーブルサッカーにはさまざまな種類があり, それぞれ個別の名称がある。おはじきサッカーもその 1 つであるが, これは日本での名称で, sub-buteo(スブティオ)というのが元々の名前である。

150 cm×100 cm のテーブル上にサッカーのピッチを印刷したベルベット様の布を敷き, サッカー選手のフィギュアが乗った直径約 2 cm のプラスチック製のおはじき(おはじき選手)を示指ではじき, ボールを蹴ることで始まる。おはじき選手の数, は, 本当のサッカーと同様, フィールドプレイヤー 10 名, ロッド付きのゴールキーパー 1 名のイレブンからなる。また, オフサイド, コーナーキック, フリーキック, スローインなどサッカーのテイストを最も忠実に再現したテーブルゲームであり, まさに発明とっていいゲームである(図 1)。

戦後の荒廃したイギリスで爆発的な人気を博し, 1960~1970 年代には, クリスマスにサンタさ

OTとして 私が 大切にしていること



にこにこ 笑顔

県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科

吉岡 和哉

発達領域の OT になって、私自身やりがいと責任の重さを感じています。しかし、子どもを目の前にした時には、純粋に子どもがやりたいことをやって笑顔になり、一緒に来た家族も優しい表情になれる作業って何だろうと考えています。子どもの能力の幅やバリエーションが広がり、子どもにとって多くの興味や価値のある作業と出会うことで、その子どもや家族らしい作業選択が可能となり、新たな意志や役割が獲得され、自己効力感の向上にもつながります。そのためには、子どもや家族に対しリーズニングを行い、作業遂行場面の観察をし、ニーズを明確にしたうえで支援を行うことが求められると思います。今回は、子どもと出会って臨床が始まる時に私自身が大切にしていることと、個別療育で大切にしていることについて述べさせていただきます。

OT

発達領域の作業適応とは

私は、子どもが笑顔になれる作業提供の視点を1番大切に考えています。子どもが笑顔になれる作業とは、作業療法の対象になる子どもの視点では、「ちょっと難しいけれど挑戦したくなる作業」のことです。Schaaf は、子どもは「ちょうどよい挑戦 (just right challenge)」¹⁾となる活動が保障されることによって新しい活動を受け入れ、達成感を感じ、子どもの中にある意欲が次の段階へ導かれるとっており、私自身もこの just right challenge を大切にして療育や支援を実施しています。

しかし、今までの私の臨床を振り返り、不十分であったと思うポイントは、子どもに対するプログラムが、「作業」や「心身の発達課題」への療育・支援という視点で繰り返されていたと思う場面があったことです。大人でも子どもでも差はないはずですが、人生という物語の中で、その人にとって意味や役割のある作業を行うためには、身体と精神、意欲などの気持ちも含めてどのよう

「やりたい」をやってみる、 「やりたい」が増えていく

執筆者：安川 英子

紹介者：灘 奈緒

〔㈱ケア21 メディカル 訪問看護・リハビリステーション び〜す西院〕

はじめに

私は15年前に、ALS（筋萎縮性側索硬化症）と宣告されました。診断当初は、暗然たる思いに沈みました。自分の病気が受け入れられず、精神崩壊、原因不明な熱が出たり、胃痙攣・動悸・息が苦しくなったり、何度も入院していました。

初めは左手から、今は全身、力が入らない状態です。時々、手なら手、足なら足、どちらか1つにしてほしかったという時があります。

私の家族は、義母と夫、長男・次男・長女ですが、今は、子どもたちは3人とも結婚して家を出ています。時々帰ってきてはよく助けてくれる、優しい子どもたちです。普段は、夫やヘルパーさんに食事や着替えなどを手伝ってもらっています。私にとってはトイレ介助が最も重要で、1人でトイレができるようになりたいと思い、リハビリの先生に何か手段を考えてと言っていますが、実現していません。

私とリハビリ

リハビリは、1回1時間、週に4回しています。そのうちの2回はOTさんが、残りの2回はOTさんが決めたリハビリのメニューを看護師さんが一緒にしてくれています。

通常、テレビなどでスポーツ選手が過酷なリハビリをしているのを想像されますが、私のリハビリは軽度なもので、手足の運動、室内歩行、ストレッチ、そして最後に15分ほどマッサージをしてもらいます。手はほとんど力がなく、可動域が少ないため、首・肩こりがきつく、筋肉をほぐしてもらいますが、そ





クライアントと実習生から 気づかされた大切なこと

小野瀬 剛広 (志村大宮病院)

はじめに

学生時代に、身体障害領域の実習が近づくと、学生同士で ROM (関節可動域) や MMT (Manual Muscle Testing), Brs (Brunnstrom stage) の測定方法を練習した記憶が思い出されます。その様子を見た学校の先生からは、「おいおい、検査するのが評価じゃないぞ」と呆れられたことを今でも覚えています。実習中はクライアントの大切な時間をいただいて検査をするので、クライアントに不快な思いをさせないように、また不利益が生じないように、学生として最低限の検査技術の練習は必要であると思います。しかし、検査をしっかり行うことだけを考えていたら、本当の評価はできないまま実習を終えることになってしまいます。今回は、身体障害領域の実習に挑む前の学生にとっての心構えや大切なことを、筆者の経験から述べたいと思います。

筆者の実習体験談

まず、身体障害領域と聞くと、脳血管疾患や脊髄損傷、頸部骨折などの疾患が思い浮かぶでしょうか。障害名としては、運動麻痺や筋力低下、感覚障害、高次脳機能障害、ADL 能力低下などが簡単に思い浮かぶことと思われます。筆者も、実習の前には各検査の方法を勉強したり、実習で遭遇しそうなクライアントの疾患について調べたりしました。同じ実習地で実習を行った先輩からレポートを見せてもらい、実習へ向けたイメージを湧きたてたりもしました。当時の筆者の頭の中

は、完全な医療モデルで固まっていました。そして、いかに実習をそつなくこなし、合格するかに重きをおいていた記憶があります。筆者は、実習の初期は視野が狭くなりがちで、一番重要なクライアントの思い、家族の思いに寄り添うことができていなかったと思います。その反省点を活かし、実習を控えた学生に伝えられればと思います。

臨床実習で大切なこと

1. 臨床実習の心構え

OT の実習は身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域などさまざまな領域でも欠かせないのはクライアント中心の作業療法ができるかだと思います。医療モデルも大切ですが、OT としては生活モデルの考え方をもちことが重要となります。

実習に臨むにあたり、まずはクライアントとラポールを築くことがとても重要です。身体障害領域でも、ある日、突然発症し、今までと同様の生活が送れなくなってしまった方と関わることが多くあります。そんな失意の中、日々心が折れそうになる中、クライアントは笑顔で実習の協力をしてくれます。学生としては、まずは1人の人間としてクライアントに敬意を表して接することが重要です。学生としての最低限の知識や技術は必要ですが、それ以上に1人の人間としての人間性が非常に大切だと考えています。同じ目標や思いを共有し、困難に立ち向かうことができる存在になれるかが重要となります。学生であっても、クラ

【全3回連載】
生活行為向上リハ
実施のための
臨床ガイダンス

3

生活行為向上リハ ビリテーション実施 加算算定に至るまで の取り組み

都甲 幹太 (介護老人保健施設 あやめの里)

はじめに

2015年度介護報酬改定で、生活行為向上リハビリテーション実施加算（以下、生活行為向上リハ加算）が新設された。筆者は、生活行為向上リハは、われわれの今後のリハや作業療法のあり方の道標であると確信している。

しかしながら、最近、他の通所リハ従事者に、「私の施設では、そもそも生活行為向上リハの依頼が来ませんよ」と言われたことが数回あった。生活行為向上リハは、6カ月という期間設定や加算の大きさもあり、対象者や家族、介護支援専門員に敬遠されがちになっているように思う。世の中では、素晴らしい新商品が店舗に並んでいても、消費者がその商品に興味をもち、納得して手に取って買って欲しなければ、素晴らしさは伝わらない。介護保険である生活行為向上リハ加算も同様に、メリットやその後の暮らしの変化について、対象者と家族、介護支援専門員へ説明し、納得してもらい、合意形成を築かなければ、支援を開始することはできない。

実は、当事業所（介護老人保健施設 あやめの里）も、介護報酬改定から1年以上経過した現在も、介護支援専門員から生活行為向上リハを

“直々に”依頼された経験は、まだ1度もない。そのなかでお1人ずつ、ていねいに、真のニーズを聴取して、支援する手立てを考え実践することで、生活行為向上リハ加算の算定体制や支援方法は、少しずつ築かれている。

そこで本稿では、生活行為向上リハ加算算定を取りつけるための、当施設の利用依頼から利用開始に至るまでの取り組みの工夫を紹介する。加えて、2016年度診療報酬改定で「目標設定等支援・管理料」が新設されたことを受け、生活行為向上リハとの関連性に触れ、医療-介護連携に向けた当事業所の取り組みを紹介する。

Surveyによる情報収集と生活行為の 予後予測、目標設定の徹底→加算算定の提案

当事業所では、以前は、通所リハ開始時、介護支援専門員から利用依頼が入ると、簡単な情報提供を受け、利用前の担当者会議で初めて利用者宅に伺っていた。しかし、その場では時間も限られ、十分なニーズ把握やアセスメントが行えず、リハの観点から核心を捉えきることができないまま利用開始となっていた。結果、通所リハの利用目的が曖昧な状態で、利用を開始するケースは少なかった。



レストランOT奮闘記

—汗と涙の就労支援

「洗い物しかできない障がい」って？

仲地 宗幸

(株)NSP キングコング



はじめに

キングコング（私が勤める(株)NSPが経営する焼肉店）ではどのような経緯で障がい者雇用を始めたかについては、前回までに述べた。私たちは障がい者といわれる人たちを雇用したいわけではなく、さまざまな立場の人が共に働く環境をつくり、そこで生まれる相互理解こそが豊かさにつながるのではないかと考えている。作業を分けて合理化する社会に慣れた人々にとって、多様な人材を混ぜるということがこれほどまでに大変なことであるとは想像もしていなかった。

呼称1つとっても、時折問題になった。障がい者枠で雇用しているスタッフを「障がい者」とは呼びたくない、かといって何か綺麗な言葉で隠してしまうようなこともしたくないという従業員の葛藤もあった。結局この問題は、社長の障がい者雇用への想いを込めて「BIメンバー」と言うことになった。B＝不器用だけど、I＝一生懸命で「BI」である。このように、機転を利かせた発想やネーミングが、時に「混ぜる」際に役に立つのである。



こだわりの強い良治君との関わり

今回、紹介する従業員、良治君（仮名）は、就労移行支援事業所を利用したが一般就労できずに、就労継続支援A型事業であるキングコングに

就職し、1年半後に当社に一般就労した方である。全従業員の機転を利かせた関わりにより働くことの喜びを学び、職業人として非常に成長した方なので、読者のみなさんにも紹介したい。

良治君は、特別支援学校を卒業後に、就労移行支援事業所を利用し一般就労に向けて訓練をしていたが、こだわりが強く作業の幅が広がらないことや、対人緊張の高さからうまくコミュニケーションが図れないことで、一般就労ではなく、就労継続支援A型事業であるキングコングを希望してきた。今回は、大石店長へのインタビューを通して、この良治君との関わりを、出会った日から振り返ってみる。

「洗い物しかできない障害」？

仲地 それでは、今でもわれわれの大切な仲間の1人である良治君との出会いと、その時の印象みたいなものを覚えていたら教えてください。

大石 はい、よく覚えています。面接で初めて良治君を見た時には、ガチガチに緊張しているな—と思いました。そして、これは個人的な印象なんですけど、自由じゃない感じがしたのを鮮明に覚えています。

仲地 自由じゃないっていう表現は珍しいですね。なぜそう思ったのですか？

大石 まずは、言いたいことを言えていないよう

前腕回内外・手関節の促通手技

大郷 和成 (NPO 法人 laule'a)

はじめに

今回は、前腕回内外の促通手技および手関節の促通手技の一部をお伝えする。前腕回内外の運動を促す場合、道具を使用することが多いと思われる。促通反復療法で随意運動を改善し、それから道具の使用を促すことで、より実用的な動作が実現できる。

前腕回外の促通手技

1. 基本

〔基本姿勢〕



治療者は麻痺側に位置し、肘関節屈曲 90°に保持して手関節と前腕近位部、肘頭を支える。

〔支え方〕



握手をする形で手関節周囲を軽く支える。示指と中指は握り込まないようにする。これにより素早い伸張反射が行いやすくなる。



示指と中指を肘頭におき、母指は回外筋の